

製品名: TGFBI (10L15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18853**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:100
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	TGFBI
別名	Beta ig; Beta ig h3; Beta ig-h3; BGH3_HUMAN; Big h3; BIGH3; CDB1; CDG2; CDGG1; CSD; CSD1; CSD2; CSD3; EBMD; Kerato epithelin; Kerato-epithelin; LCD1;
遺伝子 ID	7045.0
SwissProt ID	Q15582
免疫原	ヒト TGFBI の合成ペプチド

背景

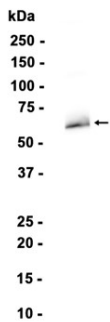
TGFBIはRGD含有タンパク質であり、I型、II型、IV型コラーゲンに結合します。RGDモチーフは、細胞接着を調節する多くの細胞外マトリックスタンパク質に存在し、いくつかのインテグリンのリガンド認識配列として機能します。TGFBIは細胞-コラーゲン相互作用において役割を果たし、軟骨における軟骨内骨形成に関与している可能性があります。TGFBIは形質転換成長因子 β によって誘導され、細胞接着を阻害する働きがあります。細胞接着において役割を果たします (PubMed:8024701)。細胞-コラーゲン相互作用において役割を果たす可能性があります (類似性による)。

研究分野

-

画像データ

Human fetal kidney



TGFBI (10L15) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。